

事務事業名		総合交流ターミナル維持管理事業			<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業																													
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間		予算科目																													
	施策名	23 豊かな地域資源を活用した観光の振興																																		
	基本事業名	01 観光客の誘致と観光宣伝の充実																																		
根拠法令					<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成9 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		01	06	01	07	00																									
所属	部課名	農林水産部 農林課																																		
	係名	農政係	電話 27-3111 内線 7123																																	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・当市は「椿の里」として椿をキャッチフレーズとした街づくりが進められており、椿を中心に花を題材とした交流施設の整備として総合交流ターミナル施設(世界の椿館・基石)が整備された。 ・地域の有利な気象条件を活かした花きの生産振興を図るとともに、同地区内の碁石海岸と併せて、都市圏からの観光客の集客の向上を目的としている。 ・当事業は、総合交流ターミナル施設「世界の椿館・碁石」の運営維持管理、入館料及び使用料の徴収・保管管理事務を大船渡市農業協同組合に委託する事業である。 大船渡市農業協同組合に入館料及び使用料の徴収・保管管理事務を委託 (人件費、施設管理費、花卉維持管理費、車両維持管理費、光熱水費等)							全体計画(※期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr><td rowspan="5">総投入量 (千円)</td><td rowspan="5">事業内訳</td><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>都道府県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td colspan="2">事業費計(A)</td><td>0</td></tr> <tr><td rowspan="3">人件費</td><td>正規職員従事人数</td><td></td></tr> <tr><td>延べ業務時間</td><td></td></tr> <tr><td>人件費計(B)</td><td>0</td></tr> <tr><td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td><td>0</td></tr> </table>					総投入量 (千円)	事業内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計(A)		0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計(B)	0	トータルコスト(A)+(B)		0
総投入量 (千円)	事業内訳	国庫支出金																																		
		都道府県支出金																																		
		地方債																																		
		その他																																		
		一般財源																																		
事業費計(A)		0																																		
人件費	正規職員従事人数																																			
	延べ業務時間																																			
	人件費計(B)	0																																		
トータルコスト(A)+(B)		0																																		

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標																									
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 大船渡市農業協同組合に入館料及び使用料の徴収・保管管理事務を委託 (人件費、施設管理費、花卉維持管理費、車両維持管理費、光熱水費等) 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度と同じ ② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 大船渡市農業協同組合 ③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 施設の適正な管理を行い、多くの観光客に入館してもらう。 ④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 大船渡市を訪れてもらう。	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>ア 入館料</td><td>千円</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </tbody> </table> ⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <thead> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>カ 維持管理施設面積</td><td>m²</td></tr> <tr><td>キ 来場者数</td><td>人</td></tr> <tr><td>ク</td><td></td></tr> </tbody> </table> ⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>サ 本年度利用者数/前年度利用者数</td><td>%</td></tr> <tr><td>シ 苦情の件数</td><td>件</td></tr> <tr><td>ス</td><td></td></tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 入館料	千円	イ		ウ		名称	単位	カ 維持管理施設面積	m ²	キ 来場者数	人	ク		名称	単位	サ 本年度利用者数/前年度利用者数	%	シ 苦情の件数	件	ス	
	名称	単位																							
	ア 入館料	千円																							
	イ																								
ウ																									
名称	単位																								
カ 維持管理施設面積	m ²																								
キ 来場者数	人																								
ク																									
名称	単位																								
サ 本年度利用者数/前年度利用者数	%																								
シ 苦情の件数	件																								
ス																									

(2) 総事業費・指標等の推移																																																																																																																																																																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="7">単位</th> </tr> <tr> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(実績)</th> <th>25年度(目標)</th> <th>26年度(目標)</th> <th>27年度(目標)</th> <th>28年度(目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">投入量</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td>千円</td> <td>899</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td>3,168</td> <td>5,394</td> <td>5,500</td> <td>5,700</td> <td>5,900</td> <td>6,100</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>17,754</td> <td>16,793</td> <td>17,500</td> <td>17,300</td> <td>17,100</td> <td>16,900</td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>21,821</td> <td>22,187</td> <td>23,000</td> <td>23,000</td> <td>23,000</td> <td>23,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td>人</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>400</td> <td>400</td> <td>400</td> <td>400</td> <td>400</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>22,221</td> <td>22,587</td> <td>23,400</td> <td>23,400</td> <td>23,400</td> <td>23,400</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑤活動指標</td> <td>ア</td> <td>千円</td> <td>3168</td> <td>5,394</td> <td>5,500</td> <td>5,700</td> <td>5,900</td> <td>6,100</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑥対象指標</td> <td>カ</td> <td>m²</td> <td>4179.1</td> <td>4179.1</td> <td>4179.1</td> <td>4179.1</td> <td>4179.1</td> <td>4179.1</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td>人</td> <td>10853</td> <td>20,976</td> <td>21,500</td> <td>22,000</td> <td>22,500</td> <td>23,000</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">⑦成果指標</td> <td>サ</td> <td>%</td> <td>46.2</td> <td>193.2</td> <td>102.5</td> <td>102.3</td> <td>102.3</td> <td>102.2</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td>件</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		事業費	年度	単位							23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)	投入量	国庫支出金	千円							都道府県支出金	千円	899						地方債	千円							その他	千円	3,168	5,394	5,500	5,700	5,900	6,100	一般財源	千円	17,754	16,793	17,500	17,300	17,100	16,900	事業費計(A)	千円	21,821	22,187	23,000	23,000	23,000	23,000	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	延べ業務時間	時間	100	100	100	100	100	100	人件費計(B)	千円	400	400	400	400	400	400	トータルコスト(A)+(B)		千円	22,221	22,587	23,400	23,400	23,400	23,400	⑤活動指標	ア	千円	3168	5,394	5,500	5,700	5,900	6,100	イ								ウ								⑥対象指標	カ	m ²	4179.1	4179.1	4179.1	4179.1	4179.1	4179.1	キ	人	10853	20,976	21,500	22,000	22,500	23,000	ク								⑦成果指標	サ	%	46.2	193.2	102.5	102.3	102.3	102.2	シ	件	10	10	9	8	7	6	ス															
事業費	年度			単位																																																																																																																																																																																		
		23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)																																																																																																																																																																															
投入量	国庫支出金	千円																																																																																																																																																																																				
	都道府県支出金	千円	899																																																																																																																																																																																			
	地方債	千円																																																																																																																																																																																				
	その他	千円	3,168	5,394	5,500	5,700	5,900	6,100																																																																																																																																																																														
	一般財源	千円	17,754	16,793	17,500	17,300	17,100	16,900																																																																																																																																																																														
	事業費計(A)	千円	21,821	22,187	23,000	23,000	23,000	23,000																																																																																																																																																																														
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																														
	延べ業務時間	時間	100	100	100	100	100	100																																																																																																																																																																														
	人件費計(B)	千円	400	400	400	400	400	400																																																																																																																																																																														
トータルコスト(A)+(B)		千円	22,221	22,587	23,400	23,400	23,400	23,400																																																																																																																																																																														
⑤活動指標	ア	千円	3168	5,394	5,500	5,700	5,900	6,100																																																																																																																																																																														
	イ																																																																																																																																																																																					
	ウ																																																																																																																																																																																					
⑥対象指標	カ	m ²	4179.1	4179.1	4179.1	4179.1	4179.1	4179.1																																																																																																																																																																														
	キ	人	10853	20,976	21,500	22,000	22,500	23,000																																																																																																																																																																														
	ク																																																																																																																																																																																					
⑦成果指標	サ	%	46.2	193.2	102.5	102.3	102.3	102.2																																																																																																																																																																														
	シ	件	10	10	9	8	7	6																																																																																																																																																																														
	ス																																																																																																																																																																																					

事務事業ID	0529	事務事業名	総合交流ターミナル維持管理事業
--------	------	-------	-----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	・「椿の里」として椿をキャッチフレーズとした街づくりが進められており、平成9年度に椿を中心に花を題材とした交流施設の整備として当施設が建設された。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	・開館当初に比べると入場者は減少傾向にあり、特に椿の非開花時期の集客対策を講じている状況にある。(GW中の無料開館、さつき展、盆栽展の開催等)
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	ツバキが開花していない時期の入館料の無料化が望まれている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 市の花である椿をはじめとした花卉に接する機会を増やすことにより、大船渡市のイメージシンボルとして「椿」が位置づけられるようになることによって、観光客が増大し、地域資源を活用した観光の振興が図られる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 大船渡市の観光のシンボルとして「椿」を定着させることによって、観光地としての大船渡をPRすることができ、観光産業だけでなく、花き生産地として複合的に振興を図ることができる。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 大船渡市農業協同組合が施設を適正に管理するようになること、椿館を魅力ある施設となること、利用者に施設をたくさん利用するようになることが、それぞれ対象及び意図であることから、対象と意図は適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ PR活動による集客範囲の拡大。近年ニーズが高まっている体験型施設への方向転換。 つばきまつり期間の入館が大半を占めるのが現状であるため、椿のオフシーズンの集客方法の検討が必要となる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 基石の観光スポットが減少するため、観光地としての魅力が低下する恐れがある。 基石観光の冬場の重要な観光スポットであり、事業の廃止、休止は不可能。 委託先は花卉栽培等の専門性を有することが必要(農協への委託は妥当)。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒【理由】 (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 椿館に関する事業は他にない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費は施設及び花卉の維持管理費が中心となっているため、事業費削減が施設の質を低下させることにつながり、事業費の削減は適当でない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 入館料を指定管理者である大船渡市農業協同組合の収入とし、また、施設修繕に係る経費を指定管理料に含めるなどし、指定管理者の裁量により管理運営することで、業務時間を削減できる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 受益者(入場者)から入場料を徴収している。入場料の額(通常一般500円)は適切であり、受益者負担は適正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>東日本大震災を契機に、被災地へ目を向けられるようになり、当施設も市内内外へPRする絶好の機会となると思われる。ツバキの開花時期はもとより、オフシーズンについても集客できる効果的なイベントを企画する必要がある。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> PRの拡大とともに、ニーズの高まっている体験型施設への方向転換を図り、集客に努める。 休館日である月曜日に観光ツアーが組まれていることがあるため、休館日変更の検討が必要である。 博物館と休館日の相違があることから、共通券の廃止を検討する。 入館料を指定管理者の収入とし、また、施設修繕に係る経費を指定管理料に含めるなど、指定管理者の裁量で管理運営を行うことを検討する。 つばきまつり運営事業との統合を検討する。 	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部委託による施設の質の低下を招かないように、定期的な報告・監査を義務付けるとともに、今後の施設の管理運営方法について、指定管理者と十分な協議が必要である。 休館日の変更、共通券の廃止を検討する場合においては、市立博物館との調整・協議が必要となる。 																						

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	農林課長	
-------	------	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい</p> <p><input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない)</p> <p><input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災により、椿館も断水状態が続き、屋根ガラスや通路も被災したが、関係者の尽力により、平成23年7月26日から開館することができた。 これまでも、椿の花の咲いていない期間の集客対策は講じてきたが、さらに検討する必要がある。 施設の運営を市農協にすべてお願いすることは検討時間を要する。 									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>現状どおり継続して事業を実施する中で、解決策を検討していく。</p> <p>平成9年度から事業を実施しているが、椿が生長し、施設自体が手狭になってきている。椿にとって十分な生育環境となっていないことから、路地での展示、養生施設等、施設の拡充が必要である。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
